

# 鏡川流域パートナーシップだより No.185 R6.11.6



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「歴史と自然の鏡川流域里山探検ツアー」第1弾・朝倉城跡歴史探検ハイキング！



11月4日(月・振休)に、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんが「朝倉城跡歴史探検ハイキング」を開催しました！総勢10名で、鏡川流域の自然、特に里山の魅力を、歴史の観点から再発見しました！

土佐塾中学校・高等学校で英語教諭を務める藤澤さんは、まちのコイン「ぼっちり」を活用して、「役に立たない塾」というプロジェクトを進めています。



JR朝倉駅に集合し、参加特典の鏡川流域パートナーシップのフェスタオルとトートバッグを持って、さっそく朝倉城跡に向かいます！



「ぼっちり」で「鏡川流域城郭倶楽部」というプロジェクトを立ち上げ、お城の魅力を発信している高知大学地域協働学部1回生の坂東孝紀さんもイベントに参加。道中、お城に関する様々な知識を共有してくれました！熱意のある説明に聞き入ってしまいます！



道中、気になった植物や昆虫、地形的な特徴などを話しながらかつ上を目指します。



主催者の藤澤さんからコメントをいただきました！

川から離れているけど、ここも鏡川流域。ここに降った雨は巡り巡って鏡川へ。450年前の戦国時代に舞台となった場所を歩きながら、今、自分の目の前にあるものは一体いつの時代のものなんだろうと考えると、たまらなく面白い！道すがら、「見つけちゃう何か」を共有するのも楽しい！ちょっと知識をインプットすると、今まで見えていなかったものが浮かび上がってくる感じが楽しかった。地元の人知らなかった一面を知るというのは、自分のアイデンティティにつながる感覚もある。さあ、次はどこに冒険に行こうか？



「ぼっちり」を通じて参加者から感想をいただきました！

「身近なところにすごい城跡があることに驚きました。参加者の皆さんと和やかに話しながらのゆるいハイキングが心地よかったです」  
「鏡川流域は自然と人が物理的に近しいので、心理的にも近しくして、日頃から関わる事ができるようになればと思います」

最上部に辿り着くと、荘厳な雰囲気を感じたり、石碑をじっくり眺めたりと、思い思いに楽しみました！参加者からは、戦国武将や城郭の構造など、多様な話題提供があり、散策がさらに充実したものになりました。



鏡川流域の自然の中でひとときを過ごした参加者同士のつながりを、今後さらに深めていきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android